



題字・箱島信一書
発行 修猷館同窓会
東京支部事務局
〒150-0011
東京都渋谷区東1-8-1-301
クリプテル(株)内
東京修猷会ホームページアドレス
<https://www.shuyu.gr.jp/tky/>

「新春に乾杯」

天猷会・星祭の
記念品より

江戸切子／木本硝子

1931年創業。「職人の精神がこもった硝子のすべてをプロデュースする」がコンセプト。長年、問屋として培った視座を活かし、硝子製品の新しい世界観に挑戦をし続ける。モダンな江戸切子は欧米や中東でも人気を博す。

枡／大橋量器

1950年創業。日本の伝統の道具「枡」を専門に製作。はかりや酒器、節分の豆まきの器等で活躍する枡は、1300年の歴史を持ち、次世代へつなぐため技術と文化的の伝承を大切にしている。木材も国産にこだわる。

「伝統」～星が集い培うもの～

令和二年秋に厚生労働省を退官し、縁あつて令和四年夏から日本赤十字社に奉職しています。赤十字は世界の百九十一の国と地域で「人道の実

私は、三十七年余り行政官として厚生省・厚生労働省等で社会保障政策などに携わり、内外の社会の変容に眼を向けてきました。御案内のように、ポピュリズムや排他・分断といった、今私たちが直面している状況は、グローバリズムの進展とともに今世紀初頭から世界に広がっていましたが、ここに来てついに我が国社会にもその片鱗を見せ始めました。これまで普遍的あるいは当たり前と考えられてきた基本的な価値やシステム、例えば自由主義・民主主義や資本主義といったものが揺らぎを見せ、あるいは重大な挑戦に直面しています。そして、どの国も格差や分断の危機の中で曲がり角を迎えて大きく変容しつつあります。人々が生活していく上で様々な社会的課題が立ち現われています。時代は激動の中にあります。私たちは、後世から見て「あの時代は色々なことが大きく変わつていった」と評されるときに生きているのかもしれません。

さて昨年は、物事が色々動いた年でした。世界ではウクライナ、イスラエル・ガザなど引き続く紛争の行く末に光が見えては消えを繰り返す中で、トランプ政権の本格稼働などにより「むきだしの力」が今まで以上に幅を利かせるようになりました。国内では、参院選などを通じ、排外的・排他的な一部の主張の高まりが懸念されるとともに、長年続いた自公政権に終止符が打たれ、与野党ともに多党化が進む中で政治の安定化に向けた新しい枠組への模索が続いています。

新年明けましておめでとうございます。館友の皆様には、清々しい気持ちにて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



東京修猷会副会長
鈴木 俊彦
(昭和53年卒)

「伝統」とは一体何なのでしょうか。この間に向き合ったとき、私には必ず想起する言葉があります。「伝統とは形を継承することを言はず、その魂をその精神を継承することを言ふ。」これは、近代柔道の創始者である嘉納治五郎の言であり、まさに伝統の本質を言い当てる言葉です。あらためて考えてみれば、我々は青春時代のわずか三年間を修猷館で共に過ごしたという一事のみによつて、その後の人生において館友としての絆を保ち続けています。それはまさに、修猷館の伝統すなわち、修猷館の魂・精神を引き継ぎ、受け継いで共有しているからこそ成り立つていることなのではないでしょうか。

今年の東京修猷会会報のテーマは「星を集め未だを照らそう」です。修猷館の伝統は、修猷館に集つた我々一人ひとり(星)が培つてきたものであり、その価値は、墨守することにあるのではなく、人の心・繋がりの中で息づいて未だを照らす力であることにこそあるのだと思ひます。その魂その精神は館歌としても歌い継がれているではありませんか。「皇國の為に世の為に尽くす館友幾多」。



新たな年が館友の皆様にとつて希望にあふれた年になりますよう、心から願つて年頭の御挨拶といたします。

10日(木)	12日(木)	14日(木)	16日(木)	18日(木)	20日(木)	22日(木)	24日(木)	26日(木)	28日(木)	30日(木)
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
二木会忘年会 於..未定	二木会 於..グランドビル市ヶ谷									
10日(木)	12日(木)	14日(木)	16日(木)	18日(木)	20日(木)	22日(木)	24日(木)	26日(木)	28日(木)	30日(木)
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
二木会忘年会 於..未定	二木会 於..グランドビル市ヶ谷									

※各日程・場所は予定であります。変更になる可能性があります。
※二木会講演は6・8月を除く
毎月第二木曜日に開催。



総会の振り返り 「星を集めて未来を照らそう」

幹事：平成 10 年卒・天鷗会

～参加者の交流を促し、それぞれが楽しみ方を見つける仕掛けづくり～



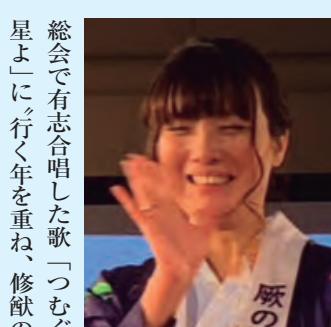
等会長、加藤副会長、鈴木副会長、箱島相談役、伊藤相談役、野本館長らを囲んで、全員でパチリ



着る屋台（「着台」）はH10卒の波戸君がデザインしたものを持ち込みました。「着る屋台」を等会長に着ていただき、加藤副会長、鈴木副会長も交えて乾杯をして親睦会を開始



星子 賢二（平成10年卒）
協賛



副実行委員長
岩瀬 泉（平成10年卒）



副実行委員長
陣野 大輔（平成10年卒）

多くの同級生に声をかけていく
私がいました。約1年間、同級
生が結集し、一つの目標を共に実現
できる、かけがえのない宝物の
ような時間になりました。総会の
準備を進めながら、学生時代の
友の存在が、如何に自分の人生に
豊かな彩りを与えてくれるかを実感
しました。最後に、至らない私たちでしたが、執行部
総会担当の高木、梶栗両先輩が
不羈独立の精神で常に温かく自
守つてくださったことに、深く感
謝申し上げます。





天猷会の挑戦～全国でキャラバン～



中京修猷会

顔を見せての告知に力を入れました！

天猷会は「星を集めて未来を照らそう」というコンセプトの下、コロナ前の賑わいを取り戻したいと考え、キャラバンに力を入れました。足が遠のいた方、未参加の方等、どうしたらお越しいただけるのか、総会へのご要望やご提案等のお声があれば承りたくなり、各地の同窓会をはじめ、同期会、職場の修猷会、部活の集い、二木会、ゴルフ等、様々なところにお伺いさせていただきました。会報にキャラバン先のすべてを掲載できず大変恐縮です。

実際にいただいたお声は、持ち帰って検討して、できる限り実現させました。温かく歓迎くださいありがとうございました。



近畿修猷会



告知協力★安東氏



二木会



二木会忘年会



二木会懇親会



東北修猷会



東京修猷会の年会費が集まるといいな！

幹事はネット払い、総会の受付で全参加者へ呼びかけ

東京 shuyu 音楽倶楽部

S51年卒の集い

福岡市、ふるさと納税流出でピンチ！

めんツナ簡単アレンジ教えて！

チケット早期申込特典ほしい！

4月末まで申込で物販「鶴うさぎ」を100円引き

S54年卒忘年会

ガングン会美禄会

修猷のTシャツが着たい！

物販で作りました！

S59年卒新年会

H4年卒の集い

H9年卒新年会

校舎と写真撮りたい&天猷会の法被が着たい！

校舎パネルのフォトコーナー+レンタル法被を用意しました

学年超えて交流したい！

交流ブースやゲームを用意

若手会

館友の活躍を紹介したい！

本人取材、著書、レストラン等を冊子にまとめました

若手会

修猷クローバー会

若手会

子どもを預けるところが欲しい！

託児所（無料）を用意しました

研修旅行座談会

手ぬぐいの使い方を知りたい！

使い方動画を製作

THANK YOU

天猷会の挑戦～様々なオリジナルコンテンツの制作～

動画と
コント

東京修猷会・懇親会の最後に翌年総会のPRタイムがあります。2024年度は3年ぶりのホテル開催（幹事は九猷会）。ぜひ、来年も来たい！と思ってもらえるよう、PR用のオリジナル動画を作り、コント（謎かけ）を考えました。謎かけには執行部の梶栗先輩と松尾先輩（ともに平成元年卒・ガングン会）、福岡から来た同級生にも協力いただきました。その後も工夫をこらしたキャラバンを心がけました。【なぞなぞ】「ゴルフコンペでは少ない方が、同窓会では多ければ多い方が嬉しいものは何でしょう？」正解は「OBの数」

グッズ
とCM

再会をより喜べるグッズ、その喜びを持ち帰れるグッズ、福岡の良さを再確認できるグッズ等、幅広く製作。6つ合わせると六光星になる桜や「鶴乃子」と「雪うさぎ」のコラボ、東京らしいものとして江戸切子とコラボ。それぞれ、星祭当日を思い出すアイテムとして、人生のお伴となりますよう、心を込めました。CMも作りました。



天猷会動画



提灯



朱色の六光星入りの特注提灯。“大学や社会に入って間もない若き六光星のカケラたちにも集って欲しい”彼らを迎える星祭に彩を灯したい”そのような思いから、協賛金を募りました。協賛金は若手の会費補助等に充て、当日は協賛者のお名前を記載した提灯を飾りました。当日参加が難しい方や部活、学年同窓会名での協賛もいただきました。“同じ会社に修猷生がいないか探したところ見つかり、会社内のつながりに繋がりました”「部活の上下の学年と知り合う機会になりました」というお話を聞きました。大変嬉しく存じます。



幹事引き継ぎ会の様子

一生青春
青春祭
令和八年度 東京修猷会総会

総会実行委員長
才野 大輔（平成11年卒）



はよせん会

就任のご挨拶



令和七年四月に着任いたしました野本と申します。令和二年度から二年間、修猷館の教頭として勤務いたしました。当時はコロナ禍で教育活動が大きく制限される中、同窓館友の皆様が「今、在校生のために何ができるか」を日々議論されており、後輩への熱い思いや「恩送り」の姿に強く心を打たれました。また、本年六月の東京修猷会総会の際には、「つむぐ星よ」の合唱に胸を熱くし、修猷館同窓の絆に改めて感動いたしました。再び修猷館にご縁を頂き、大変嬉しく光栄に思つております。よろしくお願いいたします。

さて、二〇二四年に、修猷館は創立二百四十年からの節目を迎え、翌百四十名の新入生を迎えた対面式。講堂を地響きさせる上級生の館歌の声に、今年も新入生は圧倒されていました。しかし、その後の応援歌指導では、逆に新入生自身が大声で館歌や応援歌を歌い上げ、最終日の先輩からの語りに目頭を熱くしていました。「修猷生になつた」という自覚と喜びを実感したようです。

五月・六月、運動部はインターハイ予選の時期。今年も多くの部が激戦の福岡地区大会を勝ち抜き、県大会に進出しました。また、文化部も文化部発表会で日頃の成果を披露します。

令和七年度修猷スケッチ

野本 準

第35代館長

した。六月には小学生と保護者を対象とした学校説明会を実施しました。近年、私立中高一貫校が福岡でも存在感を増す中、本校の魅力を発信しています。

七月、全国大会出場者の壮行会を行いました。今年は陸上部、山岳部、ヨット部、新聞部、書道部、放送部、化学部、ディベート部と、多くの生徒が講堂ステージを埋め尽くしました。

特に陸上部と山岳部女子は、ともに全国六位入賞という素

り、後輩への熱い思いや「恩送

り」の姿に強く心を打たれまし

た。また、本年六月の東京修猷

会総会の際には、「つむぐ星よ」

の合唱に胸を熱くし、修猷館同窓の絆に改めて感動いたしました。再び修猷館にご縁を頂き、大変嬉しく光栄に思つております。よろしくお願いいたします。

さて、二〇二四年に、

修猷館は創立二百四

十年の節目を迎え、翌

百四十名の新入生を迎えた対

面式。講堂を地響きさせる上級

生の館歌の声に、今年も新入生

は圧倒されていました。しかし、

その後の応援歌指導では、

逆に新入生自身が大声で館歌

や応援歌を歌い上げ、最終日の

先輩からの語りに目頭を熱く

していました。「修猷生になつた」という自覚と喜びを実感したようです。

五月・六月、運動部はイン

ターハイ予選の時期。今年も多

くの部が激戦の福岡地区大会

を勝ち抜き、県大会に進出しま

した。また、文化部も文化部発

表会で日頃の成果を披露しま

す。

した。六月には小学生と保護者を対象とした学校説明会を実施しました。近年、私立中高一貫校が福岡でも存在感を増す中、本校の魅力を発信しています。

七月、全国大会出場者の壮

行会を行いました。今年は陸上

部、山岳部、ヨット部、新聞部、

書道部、放送部、化学部、ディ

ベート部と、多くの生徒が講堂

ステージを埋め尽くしました。

特に陸上部と山岳部女子は、

ともに全国六位入賞という素

り、後輩への熱い思いや「恩送

り」の姿に強く心を打たれまし

た。また、本年六月の東京修猷

会総会の際には、「つむぐ星よ」

の合唱に胸を熱くし、修猷館同窓の絆に改めて感動いたしました。再び修猷館にご縁を頂き、大変嬉しく光栄に思つております。よろしくお願いいたします。

さて、二〇二四年に、

修猷館は創立二百四

十年の節目を迎え、翌

百四十名の新入生を迎えた対

面式。講堂を地響きさせる上級

生の館歌の声に、今年も新入生

は圧倒されていました。しかし、

その後の応援歌指導では、

逆に新入生自身が大声で館歌

や応援歌を歌い上げ、最終日の

先輩からの語りに目頭を熱く

していました。「修猷生になつた」という自覚と喜びを実感したようです。

五月・六月、運動部はイン

ターハイ予選の時期。今年も多

くの部が激戦の福岡地区大会

を勝ち抜き、県大会に進出しま

した。また、文化部も文化部発

表会で日頃の成果を披露しま

す。

した。六月には小学生と保護者を対象とした学校説明会を実施しました。近年、私立中高一貫校が福岡でも存在感を増す中、本校の魅力を発信しています。

七月、全国大会出場者の壮

行会を行いました。今年は陸上

部、山岳部、ヨット部、新聞部、

書道部、放送部、化学部、ディ

ベート部と、多くの生徒が講堂

ステージを埋め尽くしました。

特に陸上部と山岳部女子は、

ともに全国六位入賞という素

り、後輩への熱い思いや「恩送

り」の姿に強く心を打たれまし

た。また、本年六月の東京修猷

会総会の際には、「つむぐ星よ」

の合唱に胸を熱くし、修猷館同窓の絆に改めて感動いたしました。再び修猷館にご縁を頂き、大変嬉しく光栄に思つております。よろしくお願いいたします。

さて、二〇二四年に、

修猷館は創立二百四

十年の節目を迎え、翌

百四十名の新入生を迎えた対

面式。講堂を地響きさせる上級

生の館歌の声に、今年も新入生

は圧倒されていました。しかし、

その後の応援歌指導では、

逆に新入生自身が大声で館歌

や応援歌を歌い上げ、最終日の

先輩からの語りに目頭を熱く

していました。「修猷生になつた」という自覚と喜びを実感したようです。

五月・六月、運動部はイン

ターハイ予選の時期。今年も多

くの部が激戦の福岡地区大会

を勝ち抜き、県大会に進出しま

した。また、文化部も文化部発

表会で日頃の成果を披露しま

す。

した。六月には小学生と保護者を対象とした学校説明会を実施しました。近年、私立中高一貫校が福岡でも存在感を増す中、本校の魅力を発信しています。

七月、全国大会出場者の壮

行会を行いました。今年は陸上

部、山岳部、ヨット部、新聞部、

書道部、放送部、化学部、ディ

ベート部と、多くの生徒が講堂

ステージを埋め尽くしました。

特に陸上部と山岳部女子は、

ともに全国六位入賞という素

り、後輩への熱い思いや「恩送

り」の姿に強く心を打たれまし

た。また、本年六月の東京修猷

会総会の際には、「つむぐ星よ」

の合唱に胸を熱くし、修猷館同窓の絆に改めて感動いたしました。再び修猷館にご縁を頂き、大変嬉しく光栄に思つております。よろしくお願いいたします。

さて、二〇二四年に、

修猷館は創立二百四

十年の節目を迎え、翌

百四十名の新入生を迎えた対

面式。講堂を地響きさせる上級

生の館歌の声に、今年も新入生

は圧倒されていました。しかし、

その後の応援歌指導では、

逆に新入生自身が大声で館歌

や応援歌を歌い上げ、最終日の

先輩からの語りに目頭を熱く

していました。「修猷生になつた」という自覚と喜びを実感したようです。

五月・六月、運動部はイン

ターハイ予選の時期。今年も多

くの部が激戦の福岡地区大会

を勝ち抜き、県大会に進出しま

した。また、文化部も文化部発

表会で日頃の成果を披露しま

す。

した。六月には小学生と保護者を対象とした学校説明会を実施しました。近年、私立中高一貫校が福岡でも存在感を増す中、本校の魅力を発信しています。

七月、全国大会出場者の壮

行会を行いました。今年は陸上

部、山岳部、ヨット部、新聞部、

書道部、放送部、化学部、ディ

ベート部と、多くの生徒が講堂

ステージを埋め尽くしました。

特に陸上部と山岳部女子は、

ともに全国六位入賞という素

り、後輩への熱い思いや「恩送

り」の姿に強く心を打たれまし

た。また、本年六月の東京修猷

会総会の際には、「つむぐ星よ」

の合唱に胸を熱くし、修猷館同窓の絆に改めて感動いたしました。再び修猷館にご縁を頂き、大変嬉しく光栄に思つております。よろしくお願いいたします。

さて、二〇二四年に、

修猷館は創立二百四

十年の節目を迎え、翌

百四十名の新入生を迎えた対

面式。講堂を地響きさせる上級

生の館歌の声に、今年も新入生

は圧倒されていました。しかし、

その後の応援歌指導では、

逆に新入生自身が大声で館歌

や応援歌を歌い上げ、最終日の

先輩からの語りに目頭を熱く

していました。「修猷生になつた」という自覚と喜びを実感したようです。

五月・六月、運動部はイン

ターハイ予選の時期。今年も多

くの部が激戦の福岡地区大会

を勝ち抜き、県大会に進出しま

した。また、文化部も文化部発

表会で日頃の成果を披露しま

す。

した。六月には小学生と保護者を対象とした学校説明会を実施しました。近年、私立中高一貫校が福岡でも存在感を増す中、本校の魅力を発信しています。

七月、全国大会出場者の壮

行会を行いました。今年は陸上

部、山岳部、ヨット部、新聞部、

